



イソベテック株式会社

「自動化・省力化」からの課題解決 生産向上で社会課題の解決へ



伊勢崎市

住所 伊勢崎市国定町1-1108-3
TEL 0270-63-1547
Mail info@isobetec.co.jp
URL https://isobetec.co.jp/
代表者 泉 和宏
設立 2017年4月5日
資本金 500万円
従業員 3人

WEBサイト



企業紹介

当社は長年に渡り、自動車製造に関わる製造設備を生産しています。日本では自動車生産が国益の中心となり、各企業が最先端技術を導入して、現在も国の柱として世界で活躍しています。当社では、その技術を生かし、生産製造に関わる企業様と連携して、自動車関連以外でも常に新しい技術を取り入れ、生産コスト削減や人手不足解消につながる提案をさせていただいております。今まで培った3D技術を生かし、3D測定サービスや精度の高い製造設備を提案し、お客様の満足いく品物を今後も提供していくことが大切だと考えます。

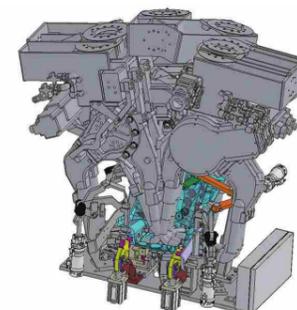
経緯・背景

今、世界ではIT化、ロボット化、AIの活用が進み、どこにいても情報を得ることができる時代となりました。それは、技術や発想が重要視される時代になったということです。当社では今までの経験を生かして、人口減少による人手不足を解決するため、「自動化・省力化」を提案しています。また、今後は環境に配慮した生産設備が世界へのアピールになると考え、当社の行動指針「人に生かされ、人のために貢献できる行動をする」を念頭に置き、会社として社会問題解決に貢献できるように取り組めます。

理念に賛同できる仲間と持続可能なモノづくりを

具体的な取組・成果

地元企業や行政と連携することで、新たな知識を活用しつつ、人出不足を解消する生産設備の導入アシストから、一貫した企業密着型の活動を行います。(自動車製造業やパチンコ製造の工程企業、そのほか人が作業工程を行っている企業が導入することで、省力化・省人化につなげる。また、品質が不安定な段階の企業へ安定した製品づくりを行う設備やヒューマンエラーを防ぐ設備の提供を行うなど)



3D設計・検証

- 補助金や助成金を活用した設備導入サポート
- ロボットと共に働く環境の提案
- 自動車業界で培った技術と経験を生かした生産設備の提案・施工
- 自動車業界で培った3D測定技術を生かし、安定した製品作りの提案



社内製作家具

私たち「イソベテック株式会社」が目指すべきこと

『環境に配慮した会社へ』

化石資源に頼らない会社作りを目指して、燃料、電気などを節約し、今後地球資源の節約を進め、社員と共に成長を目指していく。



『人から人に受け継ぐ会社へ』

時代とともに変わる情勢を捉えて、常に進化を続ける会社を作り、方針、技術を社内のみならず、外部にも伝えていく。



『地域と共存する会社へ』

地域をみても、年々少子高齢化を感じ、会社として地域の課題が見られることから、地域循環可能な雇用や調達をすることで、地域活性化に貢献していきます。



『未来に繋がる会社へ』

「人に生かされ、人の為に貢献できる行動をする」を行動指針とし、人から学び、人に伝える役目を社員一岡大切にしています。今後、社会に貢献できる企業をめざす事で、社員全員が一丸となって、生き甲斐を持って働ける職場作りを目指します。



目指すべきこと

当社にとってのSDGsビジョン

私たち「イソベテック(株)」が目指すべきこと
『環境に配慮した会社へ』
『人から人に受け継ぐ会社へ』
『地域と共存する会社へ』
『未来に繋がる会社へ』

今後の展望と求めるパートナー像

SDGsの理念に賛同、推進している企業様と持続可能なモノづくりを進めていきたいです。
課題に直面する企業様とパートナーシップを結び、お互いに尊重し合える関係を作り上げたいです。



株式会社栄光製作所

【省エネ】
【ダイバーシティ経営】
をキーワードに



富岡市

住所 富岡市神農原1109-2
TEL 0274-63-2483
Mail eikoh@kk-eikoh.com
URL https://kk-eikoh.com/
代表者 勅使河原 寛
設立 1973年10月
資本金 1,000万円
従業員 48人

WEBサイト



企業紹介

「現代を共に生き抜くパートナーに」1973年、富岡市にて創業の当社は【省エネ】【ダイバーシティ経営】をキーワードに、スタッフ一丸で《製造業》《介護事業》を営んでいます。 ●製造（富岡市本社）：医療機器関連・自動車関連の「基板の実装・組立て・検査及び製品の組立て検査」、その他試作等 ●介護（藤岡市施設）：要支援、要介護の利用者様への身体及び生活の補助、介助業務・自立支援。皆様に支えられ、2023年10月で創業50周年を迎えることができました。

経緯・背景

2000年代、大きく受注を減らしたことをキッカケに、「人材を切らずに電気を切る」を合言葉とし“細やかなデマンド管理”や“空調・換気による空気質の維持管理”などに取り組みました。それらの積み重ねが高い評価を得て、中小企業ながら大企業に並んで、平成27年、栄えある【省エネ大賞】を受賞することができました。 当社の事業である《製造》と《介護》は一見関係のない分野に見えますが、製造の作業効率に関するノウハウを基に介護を展開することで、より利用者様にとって充実した自立支援を提供し、スタッフにとっても働きやすい環境づくりを実現することができています。

製造の作業効率に関する ノウハウを基に 介護を展開

具体的な取組・成果

～主な取組～

①環境経営（省エネ）

(1)電気の見える化

スマートメーターやスマートクロックを活用し、電力の見える化を実現しました。これにより、デマンド値の最大最小の差を小さくすることができ、最高効率の生産を行いつつ、契約電力（ピークデマンド値）の引下げにつながりました。

(2)エネルギー管理体制の構築

エコリーダーという役職を新設・任命し、エコリーダーが主体となって現場のリーダーを集めた電源管理会議を毎日夕方に開催。運転電力の大きい機械の稼働が重ならないように調整し、最適な生産スケジュールを組むことのできる環境を整えました。更に、スタッフ向け節電勉強会を定期的に行い、全員の知識レベルの統一を図りました。情報共有と知識量アップにより、全社の協力体制が構築されました。

結果：2010年～2023年（14年間）で生産量は3倍になり、契約電力は45%減！



省エネの基本は『全員参加』表彰式も全員で同じステージへ

②地域社会課題解決

(1)ダイバーシティ経営

女性の活躍は創業当時より当社のカラーとなっています。職員の7割は女性であり、責任あるポジションにも多くの女性職員を任命しています。また、2005年から技能実習生の受入れを開始し、現在に至るまで受入れを継続してきました。卒業生も30名以上輩出しており、長年にわたり外国人材の活躍を支援しています。

(2)介護事業

2003年以降、グループホーム『虹の家』、小規模多機能型ホーム『太陽の家』、住宅型有料老人ホーム『すがお』、デイサービス『すがお』の3施設4機能を運営し、地域支援を行っています。



みなさまの第2の我が家、心地よく過ごせる空間を提供します

～主な受賞・出演歴～

- ◎2015年2月：経済産業省【エネルギー管理優良事業者等関東経済産業局長表彰】受賞
- ◎2016年1月：【省エネ大賞（省エネ事例部門）省エネルギーセンター会長賞】受賞
- ◎2016年3月：【新・ダイバーシティ経営企業100選】受賞
- ◎2023年10月：【令和5年度群馬県多文化共創カンパニー認証制度・認証事業者】選出

当社にとってのSDGsビジョン

～当社のSDGsへの重点取組項目～

- ご利用者様への健やかな生活の場と自立支援を提供します。
- 女性・外国人材の活用に積極的に取り組みます。
- 電気使用量の低減・安定化を通して、カーボンニュートラルに取り組みます。
- 「現代を共に生き抜くパートナーに」をビジョンに掲げ邁進してまいります。

今後の展望と求めるパートナー像

中小企業として【省エネ】【ダイバーシティ経営】に興味はあるものの、どのように実践していくべきかが不明瞭で、お困りの企業様への伴走支援を行います。また、製造・介護事業においても、同じ熱量で目標に向かって進んでいけるパートナー企業様を随時募集しております。



株式会社桐生明治

良い製品を早くそして安く
NC自動盤加工を軸に
高精度部品の少量多品種も



太田市

住所 太田市吉沢町929-1
TEL 0276-55-8383
Mail t-kawasaki@k-meiji.jp
URL https://k-meiji.jp/
代表者 川中子 雅夫
設立 1980年7月1日
資本金 1,000万円
従業員 96人

WEBサイト



企業紹介

当社は桐生市広沢町にて川中子製作所を昭和42年にスタート、高精度・高品質を求められるNC自動盤加工を軸にシャフトや精密部品を手掛け、近年では難削材や高精度部品の少量多品種にも挑戦してまいりました。平成29年に川中子雅夫が代表取締役社長に就任したのと同時に新工場「太田事業所」を立ち上げ、社名を「株式会社桐生明治」に変更しました。若手の育成と技術向上・品質安定に力を入れています。より多くのお客様に愛されるよう社員一丸となって「良い製品を早く安く」をモットーに一歩一歩前進していきたいと思えます。

経緯・背景

経済産業省、厚生労働省、文部科学省の3省が2021年5月に公開した「2021年版ものづくり白書」では、ニューノーマル時代で製造業が生き残るための3つのポイントを「レジリエンス」「グリーン」「デジタル」としています。

日本の製造業は、この3つを軸としたさまざまな取り組みが求められているため、当社でも取組を始めました。

「困った」に寄り添い解決 社員の成長と幸福を糧に より良い製品づくり

具体的な取組・成果

当社では、従業員一人一人が企業活動とSDGsのつながりを理解し、普段の業務のなかで取組を実践しています。

●技術とともに社員と家族を守る会社

技術は、人を助け向上させ身を守ります。社員の向上こそ会社の発展につながります。社員の生活の向上とその家族の幸せの根源は、良い製品づくりへつながっていきます。社内や社外の技術や精神を学び、継承し、魅力のある会社として人種も男女も問わずみんなが目標となる会社を目指します。

- ・人事評価制度による業績目標と個人目標の達成



多くの特定技能実習生が在籍

●カーボンニュートラルをつくり出す会社

当社は、技術の向上により、「高精度製品」～「気密性の向上」～「低燃費」～「走行距離の向上」へとつなげ、カーボンニュートラルに関与する高精度製品を試作から量産まで、効率の良い製品をつくります。不具合品や全ての廃棄品の撲滅を目指します。

- ・不具合撲滅
- ・外観検査自動化
(工程内不良低減)
- ・梱包資材の削減
- ・太陽光設備増設
- ・外観・寸法検査の自動化



高精度製品

●顧客の「困った」を「良かった」に変える会社

顧客の困りごとや相談に寄り添い解決するために、社員一丸となって取組を考えます。社員は試行錯誤してやり抜き、そこに気づき生まれ向上していきます。顧客の「ありがとう」を喜びや生きがいに感じることで、心が豊かになり幸せに導きます。全ての人に豊かさを与える会社を目指します。

- ・高精度な製品づくりができるオペレーターの育成

●魅力あるリーディングカンパニー

気密性の高い工場に整然と並ぶ最新の精密機械とともに、安心安全な作業環境で高精度製品をつくり続けます。「地域社会の発展を少しでも手助けしたい」そんな会社を目指し、環境配慮と法令順守を基本とした、精密切削加工のリーディングカンパニーを目指します。

- ・社内技術大学 (KMSU) によるキャリアアップ推進
- ・製造現場の「見える化」推進
- ・ISO9001、IATF16949 (車載向け認証規格)、EA21の取得



機密性の高い工場に並ぶ精密機械

当社にとってのSDGsビジョン

当社は、国連が掲げた持続可能な開発目標「SDGs」を経営理念及び方針の行動基準に取り入れ、社員一人一人の教育を推進します。また、社員の家族や顧客、地域社会からの信頼を得られるよう技術を発展させ、環境に配慮した製品をつくります。付加価値を高めて地域社会の雇用を創出し「SDGs」の目標達成に貢献してまいります。

今後の展望と求めるパートナー像

長年積み上げてきた技術力には絶対の自信を持っており、顧客要求を満たし社会に貢献できることが喜びです。顧客の困ったを良かったに変える会社であり続けます。



グリーンリーフグループ

農業スマート化・効率化で
就農者には豊かな生活を
消費者には安心の食を



所在地 昭和村

住所 利根郡昭和村赤城原844-12
TEL 0278-24-7711
Mail h-nakajima@akn.jp
URL https://www.akn.jp
代表者 澤浦 彰治
設立 1994年3月10日
資本金 2,000万円
従業員 240人



企業紹介

無から有を生み出す一つまり、「命を育むこと」が農業の本質です。当グループは事業所内保育施設（こども家庭庁所管企業主導型保育施設・保育料無料）を併設。また、様々な事業展開により、あらゆるカタチの「農業」体験ができ、農業を一生涯の仕事にしたい人にとって理想的な環境を作り出しています。私たちは農業を通して地域貢献・社会貢献を行いながら、社員一人一人が自分の夢を形にし、モノ・ココロともに豊かな生活を営んでいきたいと考えています。

経緯・背景

経営理念は「感動農業・人づくり・土づくり」。働く私たちは仕事で感動を得て、お客様へと感動を届けます。農業を雇用創出の重要な場とし、更なる発展へとつなげるため新規就農者を育てています。また、自社開発のIoT機器を活用した技術向上により、農業の「見える化」、「スマート化」を進め、農業の効率化をはかっています。

有機の食、無添加の食の提供を通して健康と土壌の保全に貢献、また安定的な農業生産を実現。消費者は厳しい審査基準をクリアした商品を安心して食べることができます。

ビジョン達成への環境保全 安心安全なモノづくり 活力ある職場づくり

具体的な取組・成果

※頭文字の番号は、SDGs17の目標の番号を表しています。

- ① 募金活動の実施を通して世界の貧困をなくすために行動します。
- ② 食を担う者として、持続可能な農業の実現と食を提供します。
- ③ 農産物や食品、特に私たちの強みでもある有機の食の提供を通して健康と土壌の保全に貢献します。
- ⑤ 社員の女性比率の高い当グループにとって、女性は欠かすことのできない貴重な戦力です。そのため、知識と経験を長期に渡って生かせる環境を整備しています。その一つとして、事業所内保育施設（こども家庭庁所管企業主導型保育施設）を整備しました。定員は16名で6か月児から保育（保育料無料）を受け入れています。グループ内の従業員の結婚、出産、育児といったライフイベントを応援するためにスタートし、性差に関わらず仕事で活躍できる環境を提供しています。
- ⑦ 自然エネルギーを活用した取組を行なっています。
- ⑧ 20を超える働き方のパターンを提供しており、社員は自らの生活スタイルに合う働き方を選択することができます。また、働き方パターンには評価基準が定められており、どうすれば評価が上がり、所得を増やすことができるかが明確であるため、常に向上心を持って、努力を続けられるシステムになっています。
- ⑩ 外国籍の社員の日常生活や就業生活をサポートする外国人財支援課を設けており、タイ語、ベトナム語に対応したサポートを行っています。全ての社員が同じように発言し、相談できる環境を整備しています。
- ⑫ 有機JAS認定を受けて有機加工食品として製造している漬物は、その調味料にまでこだわっており、鰹節、昆布、塩、砂糖、酢、みりん、醤油等、添加物の使用されていない天然調味料を用いて製造しています。



散歩中に見学

- ⑬ 5つの発電所及びグリーンリーフ蒔蒔工場・野菜加工場、バイオエナジー第1寮の屋根上に設置された太陽光パネルにより、私たちの生活に必要な不可欠な「電気」を、再生可能エネルギーである太陽光を利用して生み出しています。CO2を排出しないクリーンなエネルギーの活用を通して地域や環境の改善に貢献します。
- ⑮ 有機野菜、有機食品の提供を通して安心安全な食をお届けします。



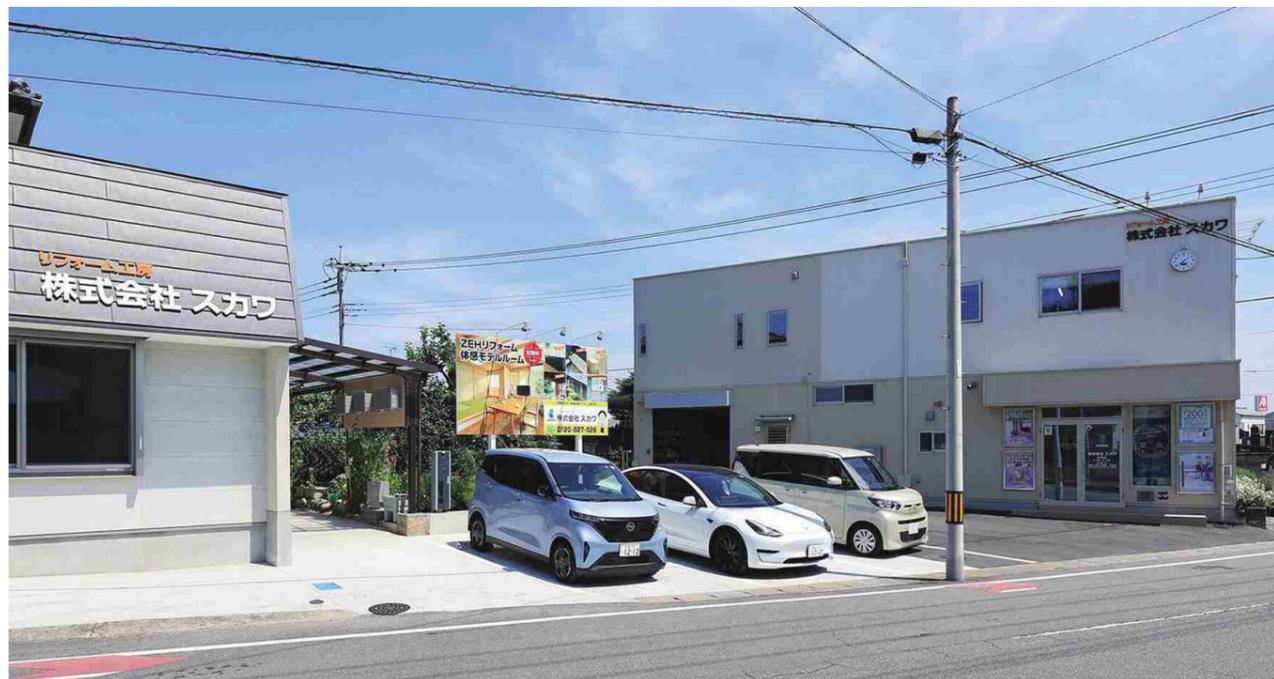
新規就農者のレタス畑

当社にとってのSDGsビジョン

『感動農業 人づくり土づくり』の経営理念に基づいた企業活動・企業姿勢は、SDGsの取組と同じ方向を向いています。このビジョン達成に向けて設定した環境保全、安心安全なモノづくり、活力ある職場の3つのマテリアリティを着実に達成していくことで持続的な成長を遂げ、社会課題の解決に貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

農業・食品産業はSDGsの達成に率先して行動することで新たな成長につながっていきます。消費者、販売先、生産者、各自治体等はSDGs実施の重要なパートナー。自ら情報のアンテナを張り巡らせ積極的に新しい情報を得て、それぞれとの連携を推進し取り組んでいくことを目指します。



株式会社 スカワ

リフォーム事業者の先頭に 立って脱炭素化リフォームに 取り組む



高崎市

住所 高崎市倉賀野町1717
TEL 027-346-1849
Mail sukawa@kuragano.com
URL https://sukawa-reform.com
代表者 須川 光一
設立 1972年6月7日
資本金 1,000万円
従業員 11人

WEBサイト



企業紹介

創業60年の地域密着型リフォーム専門店。「水まわりリフォーム」を得意とし、リフォームコンテストで多くの賞を受賞しています。群馬県技能大会・一般配管技能士の部の優勝経験者もあり、水道管の不備や老朽化も見越して的確に対応します。社長は都内の設計事務所スウェーデン大使館や群馬県立自然史博物館などの設計に携わった一級建築士。群馬県主催「事業者向け耐震改修講習会」の講師も務め、耐震・断熱を考慮したフルリノベーションもこなします。工事後のメンテナンスのことを考え、請ける仕事は自動車で30分圏内としています。

経緯・背景

2020年に政府が「2050年カーボンニュートラル宣言」を表明したことにより、住宅の省エネルギー化はこれまで以上に脱炭素の社会づくりの一環として議論されることとなりました。気候変動などにより、地球温暖化対策や脱炭素化への意識は確実に高まっています。その流れに沿った住宅がこれまで以上に評価される時代となります。住宅リフォーム事業者は、既存住宅の断熱化など、脱炭素化に貢献する取組が求められています。私たちはリフォーム事業者の先頭に立って、脱炭素リフォームに取り組んでいます。

次世代との調和のとれた発展 地球温暖化への対策 災害・健康リスクへの対応

具体的な取組・成果

地域密着・住宅リフォーム専門店として、下記に取り組んでいます。

【具体的な取組】

1. 「ネット・ゼロ・エネルギー」で、サステナビリティを実現する。

自社オフィスの断熱性能を向上させ、高効率設備機器を導入し、省エネを図ります。太陽光発電設備で電気を自給することにより、年間のエネルギー消費量の収支をゼロとします。電気自動車からオフィスへの給電設備で、災害時もエネルギー自立します。リフォームで、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）仕様の住宅を地域に広めます。

2. 「長寿命化リフォーム」事業を通じて、安心な暮らしを提供する。

今お住まいの住宅や空家に、長寿命化リフォーム（耐震・断熱・バリアフリー改修等）を施すことで、健康性・快適性・省エネ性・耐久性に優れたライフサイクルの長い住宅を地域に広めていきます。県や市と連携してセミナーを開催し、普及活動を行います。



断熱改修のモデルルーム



耐震改修の展示

3. 「働きやすい職場環境づくり」で、ダイバーシティを推進する。

現在、女性従業員の比率は64%。女性の能力が発揮できる会社づくりを目指しています。高機能トイレ・シャワールーム等の環境整備、業務に関わる資格取得の支援、多様な働き方への対応等、全ての社員が働きやすい職場づくりを実現します。



活躍する女性スタッフ

【成果】

- 「ネット・ゼロ・エネルギー」
 - 太陽光パネル10KWを設置して、自社で使うエネルギー分を太陽光で発電して、エネルギー消費量を正味でゼロに近づけた。
 - 電気自動車2台、V2H（ビークルtoホーム）1台、蓄電池22.5KWを導入して、災害時にもエネルギー自立できる事務所とした。
 - 築50年の住宅の一部エリアを高断熱リフォームして、快適さを体感できるモデルルームとして公開することで、「ZEH仕様の住宅リフォーム」を地域に紹介している。
- 「長寿命化リフォーム」(2022年度実績)
 - 断熱リフォーム45件
 - 耐震リフォーム3件
 - バリアフリーリフォーム23件を実施
- 「働きやすい環境づくり」
 - 従業員トイレにタンクレス便器を設置
 - 事務室を断熱改修かつ床暖房を設置
 - 事務室はCO2濃度1,000ppm以下に管理
 - 全営業車にUVカットフィルム施工
 - 最新式パソコン・スマートフォンを支給
 - 全正社員が3種類以上の資格を取得
 - パート入社女性を部長に登用

当社にとってのSDGsビジョン

私たちは、住宅リフォームを通して住み方の提案を行い、「家族の思い出をつなぎ、快適で安らぎのある暮らしをお届けする」ことを経営理念としています。SDGs達成に向け、次世代との調和のとれた発展、地球温暖化への対策、災害・健康リスクへの対応に重点的に取り組み、幸せや豊かさの提供につなげます。

今後の展望と求めるパートナー像

当社は災害時にもエネルギー自立し、地域の防災拠点になり、地域の防災力向上に貢献します。リフォームでZEH仕様の住宅を地域に広めます。「長寿命化リフォーム」を推奨し、ライフサイクルの長い住宅を地域に広めます。県や市と連携したセミナーを開催して普及活動を行います。



大和証券株式会社 高崎支店

ESG投資で サステナビリティの 取組を応援する



高崎市

住所 高崎市八島町58-1
TEL 027-327-7111
URL <https://www.daiwa.jp/>
代表者 押上 剛人 (高崎支店長)
設立 1999年4月26日
資本金 2,473億円
従業員 14,889人



企業紹介

当社グループでは、公正で活力ある金融・資本市場を維持・発展させていくことに加え、金融に社会的な視点を組み込むことで、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えています。有価証券投資に際し財務情報のみならず環境面や社会面の取組等、ESG要素も評価に加味する投資手法を推進しています。

今後もグリーンボンドをはじめSDGs債の引受け・販売、ESGファンドの販売等事業活動を通じ、社会課題の解決に向けて貢献していきます。

経緯・背景

この数年、サステナビリティへの取組が世界的に広がってきたことで、関連する債券市場の拡大とともにお客様のサステナビリティへの関心も高まっています。当社は日本におけるSDGs債（従来のインパクト・インベストメント債券を含む）のパイオニアとして、公的機関や金融機関等が社会課題の解決を目的に発行する債券に、お客様が投資する機会を提供しています。またESGファンドへ投資することで、金融市場を通じてサステナビリティの取組に積極的な国や企業などを間接的に応援することができます。

資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現に取り組む

具体的な取組・成果

社会問題の解決、未来の社会および金融・資本市場の発展のために取り組んでいます。

●個人投資家向けSDGs債

◇SDGs債の販売について、以下一部例をご紹介します。
イオンモール（サステナビリティ・リンク・ボンド）、山口フィナンシャル・グループ（グリーンボンド）、日本ハム（サステナビリティボンド）
2008年3月～2023年3月までの大和証券累計販売額は8,419億円であり、国内市場における大和証券のシェアは40%です。

●ESGファンド

ESGファンドとは、サステナブルな社会への移行に向けESGやSDGs目標達成などに取り組む企業への投資など、ESGを投資対象選定の主要な要素としており、その内容に関する開示が可能である投資信託です。

これらに投資することで、金融市場を通じてサステナビリティの取組に積極的な国や企業などを間接的に応援することができます。

当社では、多様なお客様のニーズに応える商品ラインアップを拡充しています。

また当社グループは、証券ビジネスを通じて培ってきた金融経済分野の知識やノウハウを生かし、様々な世代に対して、金融経済教育を通じて将来を切り拓く力や資産管理スキルを身につけてもらうことを目的とした教育プログラムの提供および支援活動などを行っています。2005年からは公益社団法人 ジュニア・アチーブメント日本が提供するファイナンス・パークに協力しています。



小学校での出張授業

このプログラムでは、中学生を対象に、生活するうえで必要な金融や経済の仕組みを学ぶ機会を提供しています。（県内では、群馬大学共同教育学部附属中学校2年生を対象に実施）

そのほか、ぐんまマラソンへの協賛及び参加、群馬イノベーションアワードへの協賛、ぐんまプログラミングアワードへの協賛、高崎雷舞フェスティバルへの協賛など地域イベントへ積極的に参加をしています。



2021/11/10 上毛新聞掲載

当社にとってのSDGsビジョン

当社グループでは、2018年に「Passion for SDGs～大和証券グループSDGs宣言～」を公表しました。SDGsを、世界をけん引する重要な目標と捉え、グループビジネスを通じ、企業の経済的価値の追求と社会的課題の解決を両立することで、サステナブルな社会の実現に積極的に取り組んでいます。

今後の展望と求めるパートナー像

当社グループでは、SDGsの達成期限でもある2030年に向けて、当社グループの目指すべき姿を「2030Vision」として策定しました。「2030Vision」では、「貯蓄からSDGsへ」をコアコンセプトに、“資金循環の仕組みづくりを通じたSDGsの実現”に取り組んでいます。



特定非営利活動法人地球温暖化防止ぐんま県民会議

温室効果ガス排出削減
重要性の情報提供と
行動変容促進を目指す



前橋市

住所 前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル6階
TEL 027-289-5944
Mail info@gccca.jp
URL https://www.gccca.jp/
代表者 養田 雅香
設立 2005年3月3日
従業員 6人

WEBサイト



企業紹介

県民及び事業所に対して地球温暖化・気候変動の原因となる温室効果ガスの排出を削減することの重要性について情報提供し、行動変容を促すことを使命として活動しています。個人に対しては出前講座・地域イベントやうちエコ診断、事業所に対しては環境GS認定制度の登録及び運用支援、無料の省エネ診断と省エネ・再エネ設備の導入支援などを行っています。

経緯・背景

本県のマイカー保有率は全国一で、運輸部門からのCO2排出割合が全国より10ポイント程度高くなっているため、公共交通や自転車を活用するスマートムーブやエコドライブの普及が課題となっています。

一方、日照時間は全国でも上位にあり、太陽光発電には好適です。森林伐採を伴うものではなく、家庭や事業所の屋根を活用する余地は大きく、その普及が課題です。また、高齢化・後継者不足による離農・耕作放棄地の増加が進む中、CO2の吸収・固定を図る意味でも里地里山の保全が課題となっています。

気候危機克服を使命とし 財政支援を求めつつ 啓発イベント等を開催

具体的な取組・成果

①スマートムーブの普及のため、2020年度に「群馬県スマートムーブ推進協議会」を立ち上げ、交通事業者、行政、交通需要者が一同に会して議論するとともに、県民向けに啓発イベント（映画会・フォーラム）を開催し、スマートムーブの意義を啓発してきました。また、自動車を使用せざるを得ない場面では、「エコドライブ」を行うことでCO2排出を抑制することができます。環境GS認定事業所に対してエコドライブ支援装置を貸し出すことで普及を図っています。



公共交通を利用して県内・近県を巡る体験ツアー開催

②個人に対しては、地域の出前講座や環境イベントを通じて脱炭素ライフスタイルの周知と行動変容を呼びかけてきました。今年度からは県事業として「うちエコ診断」を実施し、家庭における省エネを推進しています。また、太陽光発電についてセミナーを開催し、導入のメリット（環境・家計・防災など）を周知しています。県内の家庭用太陽光発電の普及率は13%程度となっており、普及の余地は大いにあると考えています。



環境イベントで脱炭素ライフスタイルをPR（伊勢崎）

③CO2の排出抑制と併せて、吸収源の拡大も重要です。高齢化・後継者不足により各地で耕作放棄地が

増えており、野生動物の住みかとなり、人や農作物に被害も発生しています。耕作放棄地の増加を抑制するため、営農を継続できるように都市生活者が支援する仕組みを構築するとともに、放置竹林を整備してCO2の吸収・固定につなげる取組を検討しています。



渋川の特別栽培農家でサツマイモ収穫支援

④緩和策によりCO2排出削減を進めても、脱炭素を達成するまでは気温上昇と気候変動が進み、猛暑・熱波・豪雨・干ばつなどの気象災害が激甚化することが予想されます。そうした事態に備える適応策も重要で、熱中症対策、感染症対策、洪水対策など、個人や組織として備えるべき適応策についても情報提供していきます。

当社にとってのSDGsビジョン

①必要なエネルギーを再生可能エネルギーでまかなえ、気温上昇に歯止めがかかり、気候変動が緩和されること。②公共交通や自転車など、環境負荷の小さい移動手段を誰もが安心して利用できる交通・道路環境の実現。③化石資源の過剰消費を減らし、バイオマス資源を効率よく活用し、廃棄物の発生を最小化する。

今後の展望と求めるパートナー像

当法人は中間支援組織として、気候危機を克服しようとする企業・行政・個人のパートナーシップを進める使命を担っています。NPO法人であるため、財政基盤は脆弱ですが、人的資源には恵まれており、気候変動対策に関するノウハウを必要とする個人・組織に貢献するため、財政的に支援してくれるパートナーを求めています。



東栄化学工業株式会社

工業用ゴム部品の開発
社内育成で独創性を重視
医療分野へも新規参入



伊勢崎市

住所 伊勢崎市香林町2-1284
TEL 0270-62-7155
Mail y-seki@toeikagaku.co.jp
URL https://toeikagaku.co.jp/
代表者 宇井 聡
設立 1960年2月22日
資本金 3,000万円
従業員 45人



企業紹介

当社は1960年に創業した自動車用ゴム部品など、工業用ゴム部品を開発・製造する企業です。

経営理念は社内育成で豊かな個性をつくり、世の中の変化を敏感に捉え、独創性豊かな製品を生み出すことです。

新しい取組として、2015年に医療分野へも参入し、自社製品の上市も行っています。

どのような環境や時代になろうとも、お客様と当社で働く従業員を第一に考え、次の世代へバトンをつないでいきたいと思っています。

経緯・背景

国内は人口減少により今後当社の主要分野である自動車台数の減少が想定されていました。そのため、様々な分野への進出を2015年頃より模索していました。2013年に群馬大学重粒子線医学研究センター設置を核とした群馬県がん治療技術地域活性化総合特区指定の際の施策で、医療産業拠点を目指し医療分野へのモノづくり企業の参入促進という項目がありました。具体的には医療ヘルスケア関連製品開発の促進、医療関連産業の育成等、様々なご支援を受けて医療機器分野に新規参入いたしました。

健康にやさしく環境に配慮 パートナーを幅広く募集

具体的な取組・成果

最初に取り組んだのは、群馬県のビジネスマッチングで生まれたレディケアです。こちらの製品は埼玉県医療機器メーカーギネマ様のニーズを受け共同開発にて初めて取り組んだ医療機器製品で、当社の本業のゴム製品の技術を生かしたシリコンゲル製品です。主に出産時の帝王切開の手術跡がみみず腫れのように残ってしまうことを防ぐケアをメインに、幅広い部位での女性の手術跡ケアに使われております。



女性の手術跡ケア用品

次に取り組んだのが、群馬県のコンサルタント事業から生まれたシリコンHDRテンプレートです。創業から約60年間下請け業としてやってきた当社が、初めてメーカーとして開発販売を行う製品です。前立腺がんの放射線治療に使うガイドとして用います。

当社として創業以来初めての知的財産の取得にあたっては、群馬県よろず支援拠点の支援を受け意匠登録を取得いたしました。また当ビジネスプランはぐんまビジネスサポート大賞2016努力賞を受賞、グッドデザインぐんま選定商品となりました。



前立腺がん放射線治療用シリコン製品

3番目に取り組んだのが群馬銀行様のビジネスマッチングで取り組んだOne-Band (ワンバンド) です。足利市のH&M.Nishida (西田医院) 様からのニーズを受けて、前橋工科大学 (小田垣研究室) 様と連携し「すべての人に健康と福祉を」という思いで上記2製品に比べ老若男女幅広い対象として生まれたりハビリ・トレーニング用器具です。この製品はケガや病気でリハビリをする方のみならず、健康な人はもちろん、スポーツトレーニングの分野まで幅広く使っていただける製品です。

また医療機器参入でお世話になった地元群馬県に何か恩返しができるかと本業のゴム分野だけでなく「パートナーシップで目標を



リハビリ・トレーニングと幅広く使える

達成しよう」という思いで地場産業である繊維産業とのコラボレーションで取り組みました。

これらの取組を評価していただき、経済産業省からは地域未来牽引企業の選定、群馬県から優良企業表彰ものづくり部門優秀賞を受賞させていただきました。

当社にとってのSDGsビジョン

『環境にやさしい会社』

カーボンニュートラルに取り組み、環境はもちろん人・社会にもやさしい会社

『健康に配慮した会社』

社員の健康を第一に医療機器事業を通じ、社会全体の健康を推進できる会社

『いきいきと働くことができる会社』

当社と関わった全ての人がいきいきと働くことができる会社

今後の展望と求めるパートナー像

『地域と共に歩む会社』

産学官金連携を通じて医療機器開発を進め、地域社会の活性化に貢献できる会社を目指します。

医療に関する地域課題を解決するために、医療機関はもとより一緒に取り組んでいただける事業者、教育機関、地方自治体、金融機関のパートナーを幅広く求めています。



番貞鋼材株式会社

鉄を通じて社会の発展と人々の暮らしに貢献



前橋市

住所 前橋市泉沢町1250-3
TEL 027-268-4521
Mail order@bantei.jp
URL https://www.bantei.jp/
代表者 番場 太一
設立 1975年8月4日
資本金 1,000万円
従業員 33人



企業紹介

鋼材卸販売加工業を営み、おかげさまで2025年に50周年を迎えます。経営理念に「企業の存在価値を高め、得意先や社会一般からいつの時代も必要とされる企業の構築」を掲げ、鉄を通じて持続可能な社会の実現に向け目標達成の努力をしております。



経緯・背景

住み続けられる世界を次世代へつなげるため「エネルギー使用の効率化」「資源の有効活用」「廃棄物の削減」の3つに着目し、事業活動における環境負荷の低減を目指しています。更に、少子化や人口減少など多くの課題を抱える社会の中で事業を継続し、雇用を守ること使命と考えています。そして、時代が変化していく中でも培ってきた技術力を十分に発揮し、地域をはじめ、広く社会に貢献していきたいと考えております。また、私たちは、事業活動を継続できることに感謝し、その気持ちを様々な形で表してまいります。一人でも多くの人が笑顔でいられることを願っております。

職場環境を整備し パートナーとして信頼され 必要とされる企業づくりへ

具体的な取組・成果

地球環境保全への貢献として、リサイクル製品ともいえる鉄を通して、資源の有効活用を行い、これからも地球環境保全に貢献していきます。

徹底した在庫管理による素材の有効活用、加工時に発生するマテリアルロスの削減等、廃材を減らすための取組を行っています。

また、CO2排出削減では環境GS認定をいただき、最新設備によるエネルギー使用量の効率化や削減、DX化の推進を通じたデジタル化への移行、エコカーやエコトラックへの入れ替え、全施設LED照明への切替えなど環境への配慮を行っております。

「健康経営優良法人」として、定期健康診断の100%受診、健診結果に基づく再検査100%を目指した呼びかけ、毎月のヘルスリテラシー向上に向けた情報提供やコミュニケーションの促進に向けた取組、健康に関する電話相談窓口の設置など、そのほかにも様々な活動を通して、社員の健康維持増進に取り組んでおります。



取り組みがわかる認定証の数々

また、社内での取組として外部研修会への参加や、トラックの運転資格取得支援制度、業務上必要な資格取得支援を行っており、質の高い教育機会の提供と資格取得支援のサポートを行っております。

女性の活躍は経営戦略のひとつとして捉え、女性があらゆる能力を発揮できる職場環境の整備を行っております。ワークライフバランスの両立により、多くの女性が事業に尽力できる環境を整え、労働力不足が叫ばれる業界の活性化や社会的な豊かさを実現できるものと考えています。当社では、産休・育休制度の完備や不在を補い合える業務体制の構築、フレックスタイムの導入により女性が安心して活躍できる環境を整備し、これからも性差なく働きがいを感じられる職場づくりへ尽力してまいります。

住み続けられるまちづくりへの貢献として、災害や感染症などの緊急事態が発生した際、迅速な対応ができるようBCP（事業継続力強化計画）を策定しております。震災や感染症などの災害発生時に事前策定した

BCPに基づき業務を継続させ、お取引先への商品の供給や社員の生活を守るため、対策をしています。

また、「前橋市SDGsパートナー」に登録し、自治体や地域団体との協働によるまちづくりにも積極的に参画しています。

市内のイベント行事への協賛や実行委員会にメンバーを輩出し地域の行事に主体的に参画しているほか、花火大会やロボットコンテストへのスポンサー協力など、地域社会への貢献活動は地元に対する恩返しと考えております。

関係諸団体との連携を通して、前橋市内の中学校への出張型キャリア教育の実施、職場体験の受入れなど、未来を担う青少年に学習の場を提供しています。これらの体験を通して、学生の皆さんが鉄や次世代へとつながるものづくりに親しみを持ち、魅力を感じてもらえるよう取り組んでおります。



青少年と未来をつなぐ教室

当社にとってのSDGsビジョン

- 私たち「番貞鋼材」が目指すこと
- ・地球環境保全への貢献
 - ・社会課題解決に向けた貢献
 - ・働きがいを感じる職場作り
 - ・社会のためにできることを考える
- これらを踏まえて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

今後の展望と求めるパートナー像

「お取引先のパートナーとして信頼され必要とされる企業づくりに努める」これは、当社の経営理念です。いつの時代も必要とされる企業を構築するためには、協力業者様や社員とその家族、そして地域の皆様との協働が重要です。協力業者の皆様と一丸となって、持続可能な社会の実現に向けた取組を展開してまいります。



三立応用化工株式会社

安定した品質と水や資源・エネルギーの効率的な利用と廃棄物の削減を実現



伊勢崎市

住所 伊勢崎市香林町2-1284-33
TEL 0270-62-5545
Mail gen@mitachi-eng.co.jp
URL http://www.mitachi-eng.co.jp/
代表者 佐羽 宏之
設立 1961年9月13日
資本金 5,000万円
従業員 30人



企業紹介

新しい材料として注目されていたプラスチックを使った応用製品の開発と製造を目指して1961年に設立された会社です。社名の三立(みたち)は、「電機」・「自動車」・「その他」の産業にバランスよく立脚してゆく三脚をイメージして名付けられています。以来、中空成形、射出成型、真空注型技術を使って、様々なプラスチック製品を作ってきました。現在は、真空注型技術を柱として、電氣的絶縁性能、熱伝導の向上などを通じて、大型モータ、半導体製造装置、重電部品など製品の性能向上に寄与する加工に取り組んでいます。

経緯・背景

当社は、2000年にISO9001認証、2006年にはエコアクション21の認証を取得しました。環境に最もやさしいものづくりは、不良品をつくる無駄を除いた製造を確立することであると気づき、ISO9001とエコアクション21の認証を維持する活動を一元化して取り組んできました。その成果として、安定した品質と水や資源・エネルギーの効率的な利用と廃棄物の削減を実現した活動を続けていくことができました。2021年には、SDGs達成に向けた宣言を行い現在に至っています。

プラスチック加工業の経験を生かしつつ、新たな材料にも果敢に挑戦

具体的な取組・成果

- ① 製品製造にあたっての品質維持、環境への配慮の実施
当社の製品は、その製造に当たり「品質は作りこむもの」という考えに基づき、ISO9001品質認証制度に基づいた品質文書の整備並びに環境に配慮した材料選択やエネルギー、水の使用、廃棄物管理のうえで製造されています。
- ② 環境に配慮した製品の開発と製造
当社は、お客様からの開発要望に応えつつ、省エネルギーや環境負荷の低減に資する製品開発に取り組んでいます。



「真空注型製品」

- ③ 価値観の転換による幸福度向上に資する製品開発
「より速く、より多く、より楽に」というこれまでの価値観から脱却して、幸福感を落とさずにSDGsを本当に実現するための製品を提案していきます。桐生工場では、里山の再利用と組み合わせ、防災にも役立つエコストーブ、生ごみの削減に役立つ生ごみ処理機などのほか、庭での新しい楽しみを提案する乗って遊べる鉄道模型をキットで提供しています。また、地域イベントなどで大型鉄道模型を走らせて子どもたちを楽しませる事業も実施しています。



当社製品のミニトレイン

④ インキュベーション工場事業

桐生工場では、基本的な工作機械を完備した機械工場を中心に、当社と一緒に施設を利用して新しい事業に取り組むインキュベーション工場事業を行っています。また、地元の群馬大学の研究に利用できるステージの提供も実施中です。



ナローモビリティと充電用のソーラー発電

当社にとってのSDGsビジョン

一人当たり地球2.76個分の資源を使っているといわれる日本人ですが、科学技術の進歩を生かして、幸福感を落とさずにSDGsを達成することは可能ではないかと考えます。そのためには、もう一度今のやり方を見直したものが重要です。当社の活動がそれに少しでも役立てば、存在価値もあるのではないのでしょうか。

今後の展望と求めるパートナー像

環境負荷が大きいといわれるプラスチックですが、現代生活には不可欠な材料でもあります。これまでのプラスチック加工業の経験を生かしつつ、新たな材料にも果敢に挑戦しながらお客様の要望に応える製品づくりと、SDGsの実現に資する当社ならではの提案をしていきたいと考えています。



株式会社ワークエントリー

「出会い・信頼・挑戦」通じ
楽しく働ける職場を作り
ぐんまの今をより楽しく



高崎市

住所 高崎市旭町26-2
TEL 027-384-3362
Mail info@workentry.co.jp
URL https://workentry.jp/
代表者 星野 聡志
設立 2004年5月24日
資本金 1,200万円
従業員 88人(グループ全体)



企業紹介

2004年5月に設立、翌2005年より群馬県事業(ジョブカフェぐんま)の運営委託を受けて19年。群馬労働局の地域連携事業の委託を受け17年。最適な求人・求職マッチングをはかるべく、相談から人材の紹介、さらには定着や教育の支援を中心に事業を行っています。行政サポート事業のほか、大学支援事業、企業支援事業、就労支援事業も行っています。

2016年より、宇都宮市に栃木支社を開設。栃木では行政サポート事業にとどまらず、福祉事業にも力を入れています。(就労支援事業等)

経緯・背景

ぐんまの人と企業が輝くためには、楽しく働くこと、またそのための職場環境づくりが大切です。自分を知り、自分の能力を適切に生かせる場で社会に貢献することができれば、笑顔で輝き続ける職業人生を送ることができます。併せて、就業の受皿となる企業が、働く人が思いきり活躍できる職場環境をつくることできれば、地域産業の発展にもつながります。私たちは「出会い・信頼・挑戦」の実践を通して、ぐんまを今より楽しくするための支援を行っています。

マッチングで社会をかえる 人と企業を繋ぐハブとして 一人でも多く幸せに

具体的な取組・成果

私たちのフィールドは、人のキャリアに関わる分野です。「誰一人取り残さない」ために、4つの柱を基に「働くをデザイン」していきます。全ての柱のベースが「マッチング」です。「マッチングから社会をかえる」を基本姿勢とし社会課題の解決を目指します。

1. 若年者就業支援
キャリアカウンセリングを重ね、本人でも気づかない可能性を広げ、特性を生かした働く場を提案します。また、自分の目で見て(見学)、体験する「体感就活(インターンシップ)」により、キャリア構築を踏まえたマッチングを実現します。
2. シニア就業支援
ご本人の希望や、長年培った知識・技術・経験をヒアリングし、キャリアを十分に発揮していただけるようマッチングに力を入れています。更に企業と求職者双方の立場を考え、出会いの場となるイベント等も開催、いきいきとしたシニア世代をサポートしています。
3. 企業就労者受入れ支援
近年「人材不足」はどの企業でも一番の課題となっているのではないのでしょうか? 私たちは採用から定着まで一貫したサポートを信条としています。企業担当コーディネーターの企業訪問時は可能な限り職場内を見学させていただき、求人票では表現できない雰囲気等も発信、マッチング促進を支援します。また、定着支援のアドバイス等も行います。



バスで企業を見学(マッチングの一環)

4. 社員の働くを支援
私たち自身が、楽しく・働きがいを持っていないと、支援を必要としている方のサポートはできません。業務に生かせる資格取得推進を行い、個人のスキ

ルアップ支援を行います。
年齢や社歴、性別に関係なく評価する方針にて「えるぼし認定」3段階目を取得しました。
2022年4月に立ち上げた地域開発事業部では、地域のあらゆる資源を総括し新たな関係性を織りなすことで、新事業を生み出しています。また、たかさき能・たかさき雷舞フェスティバル・熱血!高校生販売甲子園などの地域イベントへの協賛も行っています。
4つの柱を強化するため、コロナ禍以降、オンラインでの支援も積極的に行っています。

更に、地元と連携して地域活動事業も実施しています。

1. 令和4年、みなかみ町役場及び地元と連携し、月夜野地区での湧水加工販売を行う(株)スリーピークスを立ち上げました。
2. 令和4年、片原饅頭(創業166年)を事業承継、(株)片原饅頭を立ち上げました。2023年10月にオープン、多くのお客様より喜びの声をいただいております。
3. 令和4年1月高崎市内のタクシー会社やまと企業(株)(高崎市ぐるりんタクシー運営)をM&Aにて取得。交通弱者移動手段維持に貢献しています。
4. 令和3年1月四万湖カヌーツアー中心のアクティビティ企業を子会社にて操業開始。開業前から地元企業や有力者から地域資源活用に役立ってほしいとサポートを受け事業運営し、地域の雇用創出にもつながっています。

当社にとってのSDGsビジョン

私たちのフィールドは、人のキャリアに関わる分野です。
一人でも多くの人が、幸せに生活できる社会をつくりたいという想いで業務に取り組んでいます。
私たちは「働く」をキーワードに、人や企業・物事をつなぐハブとして誰一人取り残さない社会の一翼を担っていきます。

今後の展望と求めるパートナー像

お互いの信頼関係のもと、利他の精神を持って一緒に課題と向き合える人。
また、何か新しいことにチャレンジし、群馬の働くを元気にしたい人たち。